

コルヴェア文庫の 1649 年

—— コルヴェアによるマザリナード文書の収集 ——

L'année 1649 dans la collection Corvaia :
les Mazarinades collectionnées par la famille Corvaia

The year of 1649 in the Corvaia Collection :
the Mazarinades collected by the Corvaia family

雪嶋 宏一
Koichi YUKISHIMA

1. コルヴェア文庫の出版年代の構成

現在の早稲田大学中央図書館は 1982 年の早稲田大学創立 100 周年の記念事業の一環として建設され、1991 年に開館した。新図書館開館を記念して紀伊國屋書店から 1988 年に購入された大型の洋書貴重書のコレクションが「コルヴェア文庫」(the Corvaia Collection) である。紀伊國屋書店はこのコレクションをオランダの古書肆アントン・ゲーリツ (オランダ語ではヘーリツ) (A. Gerits & Son) から仕入れていた。早稲田大学図書館ではこのコレクションを「フランス経済・社会・思想文庫」と命名して、文庫 22 という文庫番号を付与した。

コルヴェア文庫は、シチリア出身のスイスの銀行家であったコルヴェア家が収集した 15 世紀から 20 世紀前半に至るフランスの政治、経済、社会に関する印刷本約 1 万点からなる貴重書の大コレクションである。しかし、文庫の整理作業は長らく滞り、収集から 20 年以上が過ぎた 2010 年代ようやく整理が進められ、早稲田大学図書館の OPAC で検索できるようになった。今回のシンポジウムでコルヴェア文庫がテーマとして取り上げられるようになったのも文庫の整理作業の進展があったからでもある¹。

今回のシンポジウムに際して、コルヴェア文庫を OPAC で検索して出版年別に統計を取ってみた。2022 年 7 月 5 日時点の結果を表 1～3 に示す。表 1 に示すように 17 世紀からタイトル数が増え、18 世紀末のフランス革命期と 19 世紀前半の 7 月革命から 2 月革命期のタイトルが顕著であることが判明する。これはコルヴェアがフランスの政治的混乱期の書物の収集に熱心であったことの反映であり、その点については早稲田大学がこの文庫を収蔵する以前から知られていた。しかし、この統計で筆者が特に興味を引いたのは 17 世紀中葉の数値であった。17 世紀の出版物の出版年を 5 年毎に区分して集計した結果 (表 2)、1646-1655 年間の出版物の数値が非常に高いことが判明した。そのため、さらにこの期間を 1 年毎に集計すると、1649 年の出版物が 160 点もあり、特に顕著であった。1649 年はフランスではまさにフロンド

の乱の渦中にあった年であり、パリを中心に膨大なパンフレットが刊行されていたことが知られている。この統計結果から、コルヴェアはフランス革命や19世紀の革命ばかりでなく、17世紀の革命的な事件であるフロンドの乱にも相当な関心を持っていたことが判明した。筆者は、コルヴェア文庫の中でもこれまでほとんど知られることがなかったフロンドの乱に関する資料について調査する必要があると感じた²。

表1 コルヴェア文庫（文庫22）年代別整理済みタイトル数

出版年代	タイトル数
1500年以前	1
1501-1550	28
1551-1600	98
1601-1625	76
1626-1650	240
1651-1675	156
1676-1700	109
1701-1725	184
1725-1750	213
1751-1775	979
1776-1800	1502
1801-1825	470
1826-1850	1033
1851-1875	601
1876-1900	386
1901-1925	573
1926-1950	361
合計	7010

表2 17世紀の出版年代別統計

年代	タイトル数	年代	タイトル数
1601-1605	8	1651-1655	73
1606-1610	21	1656-1660	12
1611-1615	25	1661-1665	22
1616-1620	9	1666-1670	35
1621-1625	14	1671-1675	14
1626-1630	10	1676-1680	15
1631-1635	8	1681-1685	20
1636-1640	11	1686-1690	26
1641-1645	23	1691-1695	25
1646-1650	189	1696-1700	26

表3 1646-1653年の出版物統計

出版年	タイトル数
1646	2
1647	1
1648	10
1649	160
1650	16
1651	18
1652	47
1653	2
1654	3
1655	2

2. フロンドの乱とマザリナード文書

フロンドの乱 (La Fronde) は 1648 年に勃発して 1653 年まで続いたフランスの国中に広まった大争乱である。反乱の発端は、ルイ 14 世の摂政政府を牛耳っていたイタリア出身のマザラン (Mazarin, Jules, 1602-1661) 枢機卿が、1649 年 1 月に、30 年戦争の戦費調達のために打ち出した 24 の官職ポストの売り出しであった。この政策に反対したのがパリ高等法院 (Parlement de Paris) 等の 4 つの高等法院であり、同年 5 月に団結して対抗策を打ち出した。8 月にマザラン側が高等法院の一員を逮捕したことでフロンドの乱が勃発した。そのため、フロンドの乱の前半は「高等法院のフロンド」と呼ばれ、主に課税強化に反対する高等法院と民衆の反乱であった。「フロンド」とは、『旧約聖書』「サムエル記」に登場する羊飼いのダビデが巨人ゴリアテを倒すために使った投石具のことであり、政府に対して高等法院が石を投げているような比喻から生まれた名称であるという。そして、フロンドの乱の後半は「大貴族のフロンド」と呼ばれ、1650 年 1 月のルイ 2 世コンデ大公 (Louis II de Bourbon, prince de Condé, Duc d'Enghien, le Grand Condé, 1621-1686) の逮捕をきっかけとする各地の蜂起であった。紆余曲折を経て 1653 年 2 月にマザランが復帰して、7 月にボルドーの反乱が鎮圧されて終息した。

このようなフロンドの乱の最中に、パリおよび各地で王党 (マザラン) 派とその反対派によって膨大な文書が作成され印刷出版された。これらの同時代の文書を「マザリナード文書」(Les mazarinades) と総称している。「マザリナード」は、1651 年にスカロン (Scarron, Paul, 1610-1660) が発表した *La Mazarinade* (文庫 22-423) (図 1) をその起源とする。全体は 5,200 種余りの印刷物 (大半が小冊子) と 300 種ほどの手書き文書からなり、マザラン (Jules Mazarin, 1602-61) 関係文書、マザラン批判文書、国王宣言、高等法院採決、戦況報告、檄文、建白書、張り紙、政治批判戯れ歌、大貴族の書簡など実に多種多様である。

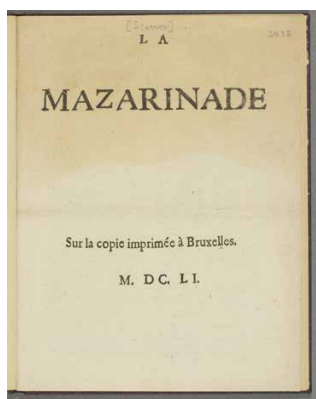


図 1

マザリナード文書の収集は、マザラン図書館の司書を務めたノーデ (Naudé, Gabriel, 1600-53) に始まる。彼は「マスキュラ」(Mascurat) と通称される『1649 年 1 月 6 日から 4 月 1 日の宣言までに枢機卿マザランに対して印刷されたすべての見解』(*Jugement de tout ce qui a esté*

imprimé contre le cardinal Mazarin, depuis le sixième janvier, jusques à la declaration du premier avril mil six cens quarante neuf) という資料集を1649年に編纂したことに起源する。「マスキュラ」は翌年すぐに大幅な改訂増補が行われた。

以来、フランスおよび欧米の図書館ではマザリナード文書の収集が始まり、マザランが設立し、ノーデが司書として資料収集にあたったパリのマザラン図書館 (La Bibliothèque Mazarine) では約25,000点のコレクションが集積され、マザリナード文書研究の中心となっている³。また、フランス国立図書館の一つであるパリのアルスナル図書館 (La Bibliothèque de l' Arsenal) には22,500点のコレクションが構築され⁴、フランス国立図書館のOPACで検索可能となっている。その他の国でもコレクションが知られ、デンマーク王立図書館では32冊に合本製本された資料群があり⁵、またロシアのサンクト・ペテルブルクのコレクションも知られている。アメリカでも各地にコレクションがあり⁶、ハーヴァード大学ホートン図書館 (Houghton Library, Harvard University) では3,902点が所蔵されている⁷。日本では、東京大学附属図書館に全44冊に合本製本された文書2,800点が所蔵され⁸、一橋大学社会科学古典資料センターではメンガー文庫に124点、フランクリン文庫に57点が含まれている⁹。

マザリナード文書の総合的な研究は19世紀フランスの編集者で文筆家であったモロー (Moreau, Pierre René Célestin, 1805-1882) が編纂した『マザリナード書誌』 (*Bibliographie des Mazarinades*, Paris: Renouard, 1850-51. 3 vols.、第3巻末尾に補遺あり) を嚆矢とする。彼はその後も2度にわたって補遺版を『愛書家・司書紀要』 (*Bulletin de bibliophile et du bibliothécaire*) に発表した¹⁰。彼に続いてソカール (Socard, M. Émile) やラバディ (Labadie, Ernest) らが補遺版を刊行した¹¹。その後20世紀後半からユベール・キャリエ (Carrier, Hubert) がマザリナード文書の徹底的な調査を行って、『フロンドの乱 (1648-1653) の印刷出版：マザリナード文書』 (*La presse de la Fronde (1648-1653): les mazarinades*) を発表して、マザリナード文書の総合的な研究を行った。彼は世界中に所蔵されるマザリナード文書を訪ねて、世界総合目録を試みたが、結局公刊されなかった。彼が残した資料はマザラン図書館に寄贈された。

このような研究に基づいて、東京大学附属図書館に所蔵されるマザリナード文書の研究が丸禎子によってマザラン図書館との連携で進められている¹²。

3. マザリナード文書の印刷

早稲田大学図書館所蔵のマザリナード文書の大半は四折判であり、そのほとんどが一折二葉からなるいわゆるハーフシートで印刷されている。四折のハーフシートは15世紀に活版印刷が始まってまもなく登場した最初の四折判の印刷方法であり、組版に時間がかからず、簡便に素早く小冊子を印刷することができる。四折判は基本的には1折4葉(A⁴)で、ページ数は8ページとなるが、全紙を半切したハーフシートでは1折2葉(A²)で4ページとなる(図2-3)。

17世紀初めにオランダで雑誌(corantos)が登場した時、ハーフシートの四折判が採用された。

すぐにフランスでも定期刊行物 Gazette (1631-) が登場して、同様なハーフシートの四折判で印刷されたことから、パリの印刷業者はこの判型をすでに知っていたのである。

マザリナード文書に使用された活字はほぼローマン体とイタリック体であり、大半の資料ではタイトルの活字と本文の活字の二種類のサイズが使用された。中には欄外余白にさらに小さいサイズの活字で Marginalia (欄外余白の注記) が印刷されたものもある。

マザリナード文書は 17 世紀中葉の資料であり、中でも印刷物については、小冊子ながらほぼすべての文書にページ付けが行われている。そのことから、当時すでにページ付けはパリの印刷業者の間では標準的な印刷技術になっていたことが確認できる。しかしながら、早稲田大学図書館のマザリナード文書の中には手書きで葉番号が書き込まれているものがあることから、合本製本した際に、通し番号を葉番号で振っていたことになる。したがって、ページ付けが一般的であったが、葉番号もまだ使われていたことが判明する。

図 2 四折判ハーフシートの印刷 1 (折丁 A-B2 8 ページ)

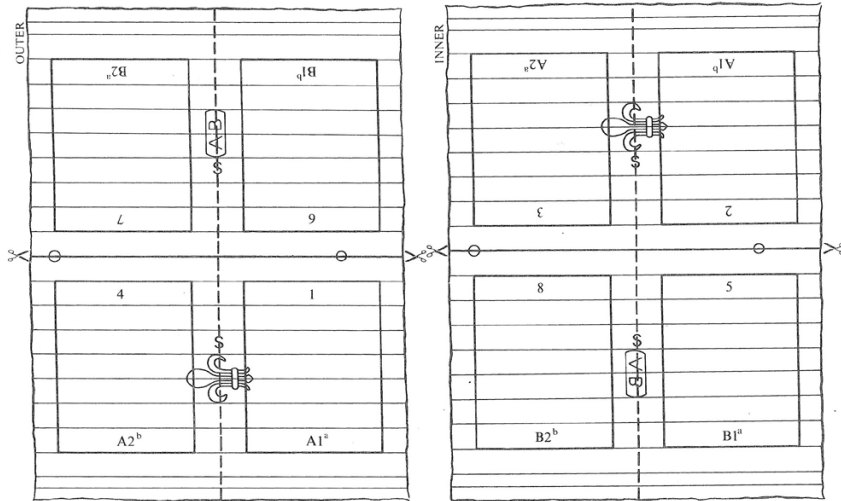
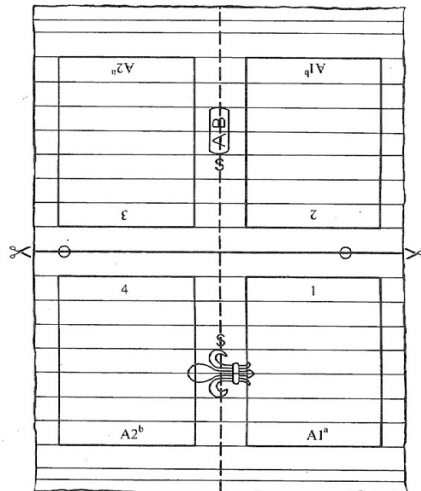


図 3 四折判ハーフシートの印刷 2 (折丁 A2 4 ページ)



図版典拠

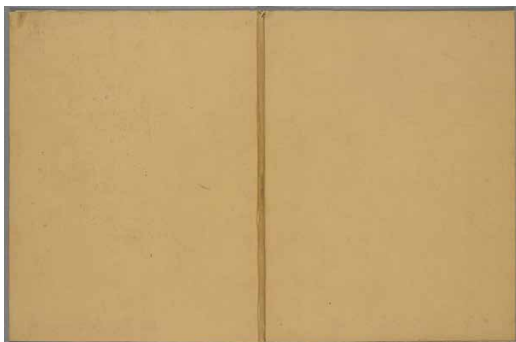
図 2 : Gaskell, P., *A new introduction to bibliography*,
Oxford : Clarendon Press, 1985, p. 90.

図 3 : Gaskell, P., *op. cit.*, p. 91.

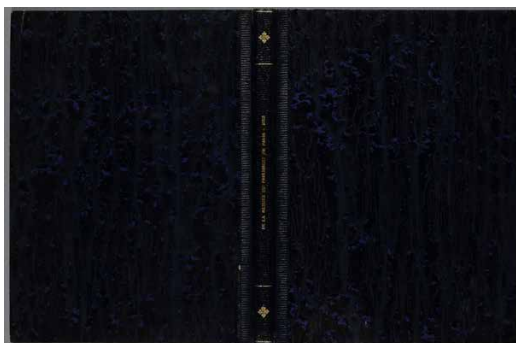
4. コルヴェア文庫中のマザリナード文書の製本

コルヴェア文庫中のマザリナード文書は製本状態に特徴があり、以下の7種類に装丁を区別することができる。

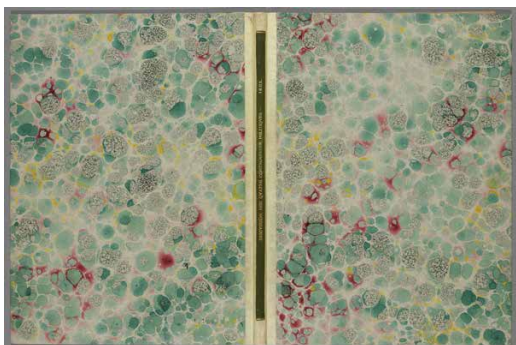
- I 原装（未製本）文庫 22-430-2, B792
- II 18世紀茶色仔牛革装 文庫 22-305, A538
- III 簡素なボード装（背に標題なし）文庫 22-A594, A596



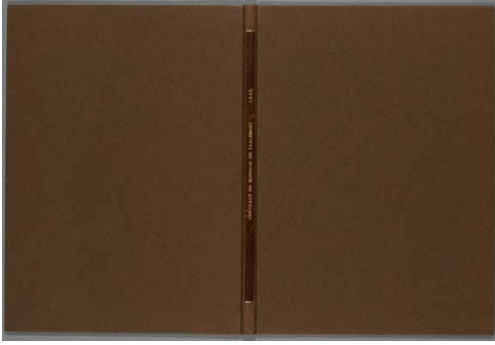
- IV 20世紀の黒色・赤色モロッコ背革装（背に標題あり）



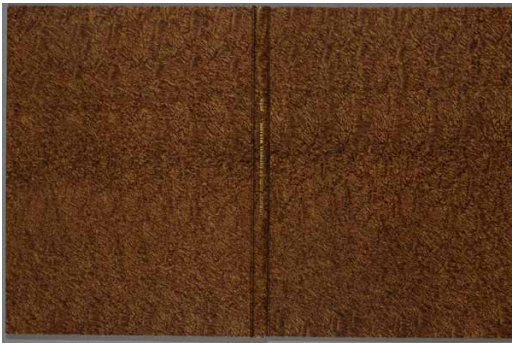
- V 20世紀のヴェラム背革装、大半では緑色の革に標題を刻印して貼付



VI 20世紀の茶色ボード紙装、茶色の革背に標題を刻印して貼付



VII 20世紀の金茶色ボード紙装、標題を直接刻印



Ⅲのボード装については、確かなことは言えないが、19世紀あるいは20世紀初めの古めかしいボード紙が使用されており、Ⅳ～Ⅶの装丁より古いものであると判断できる。Ⅳは黒色あるいは赤色のモロッコ革を背革に使用して、背にタイトルおよび fleurons（装飾活字）を刻印している。それらの多くは平にはマーブル紙様の装飾紙を貼付したボード紙を採用している。Ⅴはヴェラムの背革装で、背にタイトルを刻印し、平はマーブル紙等の文様のある紙を貼付したボード紙を採用している。Ⅵは茶色のボード紙が使用され、背にはタイトルを刻印したこげ茶色の革が貼付されている。Ⅶは金茶色のボード紙を使用し、標題を背に直接刻印している。なお、Ⅶには背文字が刻印されていないものが数点含まれている。

装丁のこのような違いは、収集した古書肆の扱いによるものなのか、あるいは収集した時期の違いなのか不明であるが、ⅣとⅤは複数の文書が合本製本されているが、ⅥとⅦの大半はほぼ1点ずつの製本になっている。これらの資料は17世紀以来どのような由来をもってコルヴェア家に収集されたのか分からないが、上述の手書きの葉番号を観察すると、多くの資料は元々合本製本されていたが、おそらく古書肆の許で

表4 コルヴェア文庫中のマザリナード文書の装丁区分

装丁区分	冊数
I	2
II	2
III	2
IV	28
V	45
VI	23
VII	47
合計	149

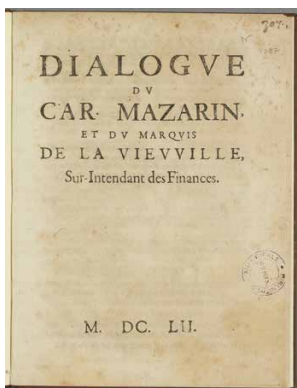
ばらばらにされて、1点ごとに再製本されていったと推測できる。このような製本仕様がコルヴェア家の趣味であったのか、あるいは古書肆の事情であったのかは不明である。大半のマザリナード文書は小冊子であったことから、収集する側は合本製本したほうが管理しやすく、閲覧も容易であったが、書肆の側は1点1点ばらばらのほうが販売しやすかったと思われる。

5. コルヴェア文庫中のマザリナード文書の来歴

コルヴェア文庫中のマザリナード文書の来歴は上述のように大半は不明であるが、以下の3点については蔵書票や蔵書印で来歴を知ることができる。

1 文庫 22-261 Bibliothèque municipale Nîmes (蔵書印) 装丁Ⅵ

Mazarin, Jules, *Dialogue du car. Mazarin, et du marquis de la Vieuville, sur-intendant des finances*, [Paris], 1652. Moreau 1087



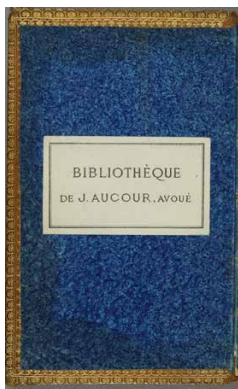
2 文庫 22-286 Ex libris de Cayrol (蔵書印) 装丁Ⅳ

De la nature et qualité du Parlement de Paris : et qu'il ne peut estre interdit ny transferé hors de la capitale du royaume, pour quelque cause ny pretexte que ce soit, A Paris : Chez François Preuveray, 1652. Moreau 857



3 文庫 22-A538 Bibliothèque de J. Aucour, Avoué (蔵書票) 装丁Ⅱ

Joly, Claude, *Recueil de maximes véritables et importantes pour l'institution du Roy. Contre la fausse et pernicieuse politique du Cardinal Mazarin, prétendu Sur-Intendant de l'éducation de Sa Majesté*, A Paris, 1652. Moreau 3039



1はフランス南部のニーム市の公共図書館の蔵書であったもので、なんらかの事情で市場に流出したものであろう。現在のニーム公共図書館（Bibliothèque Carré d'art）には多くの古版本が所蔵されているが、文庫 22-261 の *Dialogue du car. Mazarin, et du marquis de la Vieuville, sur-intendant des finances*（1652）の所蔵は確認できない。

2は、19世紀のフランスの政治家であり蔵書家であったケロー（Cayrol, Louis-Nicolas-Jean-Joachim de, 1775-1859）の蔵書印である。彼の蔵書は1861年に競売されたため¹³、コルヴェア家はその一部を入手していても不思議ではない。競売目録を通覧すると、「マスキュラ」（lot 2211）などのマザリナード文書のいくつかが見られる。また、マザリナード文書を研究したモローの『マザリナード書誌』（lot 2209）と *Choix de Mazarinades*（lot 2210）が見られことから、ケローがマザリナード文書の認識をもって収集していた可能性がある。しかし、文庫 22-286 の *De la nature et qualité du Parlement de Paris* は競売目録には見当たらないようである。なお、フランス国立アルスナル図書館（Bibliothèque de l'Arsenal）にケローの旧蔵書の一部が収蔵されている¹⁴。

3は、弁護士オクール（J. Aucour）の旧蔵書である。オクールについて現時点は不明である。

その他、来歴は不明であるが、以下のような状態の資料が見られ、来歴に関係するかもしれないものがある。

1. 手書きの葉番号が書き込まれており、番号順に並べれば元の状態がある程度復元可能な資料
2. 別々に合本されていた資料をばらして、同じ著者（Du Bosc de Montandré, Claude, -1690）の著作をタイトル順に再製本したもの（文庫 22-130-1）
3. いくつかの雑誌は合本のまま（*Le Courier françois* 文庫 22-235）

6. コルヴェア文庫におけるマザリナード文書の特徴

コルヴェア文庫のマザリナード文書にはいくつかの顕著な特徴がある。第一に、ほとんどの文書のタイトルページ右上あたりに Moreau 書誌の番号が鉛筆で記されていることである。このような目録番号を記入することは欧米の古書肆がしばしば行う方法であることを考慮すると、本コレクションを販売した古書肆ゲーリツ、あるいはそれ以前にコレクションを在庫していた古書肆が行った可能性がある。これらの番号の多くは正確であるが、誤謬もいくつか見られる。また、番号は記入されていないが、Moreau を検索すると書誌を同定できるものもある。おそらく、コルヴェア家に書物を納入していた業者が Moreau の書誌を見ながらマザリナード文書を収集していたと思われる。このように、Moreau の書誌番号が記入されていることで、欧米の図書館の OPAC の検索が容易となっている。

第二の特徴は、ほとんどの文書がパリで出版されたもので、フロンドの乱後半にボルドーで出版された文書が無いことである。一方、この時期にパリで刊行された以下の 19 種の定期刊行物が含まれている。スガール (Sgard, Jean) が、フランスで 17-18 世紀に出版された雑誌の書誌を編纂しており¹⁵、そこに収録されているものについては書誌番号を付記する。

1. *Babillard tu temps en vers burlesque*, 1-6, 1649. 文庫 22-256 : Sgard 139 ; Moreau 556.
2. *Burlesque On de ce temps : qui scait tout, qui fait tout, et qui dit tout*, 1-3, nouvelle, 1649. 文庫 22-257 : Sgard 187 ; Moreau 611.
3. *Courier extraordinaire*, 1649. 文庫 22-235 : Sgard 295 ; Moreau 828.
4. *Courier extravagant*, 1649. 文庫 22-235 : Sgard 299 ; Moreau 829.
5. *Courier françois*, 1-12, par Rollin de la Haye, Janvier 1649. 文庫 22-235 : Sgard 300 ; Moreau 830.
6. *Courier de la Cour*, 1649. 文庫 22-235 : Sgard 269 ; Moreau 821.
Courier de la Cour, 1652. 文庫 22-278 : Sgard 271 ; Moreau 820.
7. *Courrier du temps*, 1649. 文庫 22-235 : Sgard 292 ; Moreau 825.
8. *Courier plaisant*, 1649. 文庫 22-235 : Sgard 314 ; Moreau 832.
9. *Courier polonois*, 1-2, 1649. 文庫 22-235 : Sgard 318 ; Moreau 833.
10. *Factum, ou Defenses de Defenses de messire Philippes de la Mothe-Houdancourt duc de Cardonne*, 1, 3-5, 1649. 文庫 22-254 : not in Sgard ; Moreau 2849.
11. *Gazette burlesque, envoyée au gazetier de Paris*, 1649. 文庫 22-204 : not in Sgard ; Moreau 1468.
12. *Gazette de la place Maubert*, 1-2, 1649. 文庫 22-204 : Sgard 548 ; Moreau 1469.
13. *Gazettier des-interressé*, 1-2, 1649. 文庫 22-184 : Sgard 485 ; Moreau 1466.
14. *Gazette des halles touchant les affaires du temps*, 1-2 nouvelle, 1649. 文庫 22-204 : Sgard 548 ; Moreau 1470.
15. *Gazette de la place Maubert*, 1-2, 1649. 文庫 22-204 : Sgard 548 ; Moreau 1469.
16. *Journal contenant tout ce qui s'est fait et passé en la cour de Parlement de Paris*, le 13 may 1648 -

le 12 avril 1649, 1648-49. 文庫 22-173 : Sgard 628 ; Moreau 1741.

17. *Journal poetique de la guerre parisienne*, 1-12, conclusion, 1649. 文庫 22-148 : Sgard 775 ; Moreau 1763.

18. *Le mercure anglois*, 2, 1649. 文庫 22-278 : Sgard 912 ; Moreau 2451.

19. *Le mercure parisien*, 1649. 文庫 22-296 : Sgard 946 ; Moreau 2455.

第三の特徴は、口絵に銅板肖像画および紋章を掲載した文書が5点（文庫 22-134 ①（2枚）, 205 ⑦, 205 ⑱, 287, A538(紋章)）あることである。口絵の記述は Moreau の書誌にはなく、また、マザラン図書館のマザリナード文書目録にも該当する口絵に関する記述がないものである。

図4 文庫 22-134 ①巻頭の銅版口絵 (Moreau 3174 参照)



図5 文庫 22-205 ⑦の巻頭の銅版口絵 (Moreau 1395 参照)



図6 文庫 22-205 ⑱の巻頭の銅版口絵 (Moreau 3493 参照)

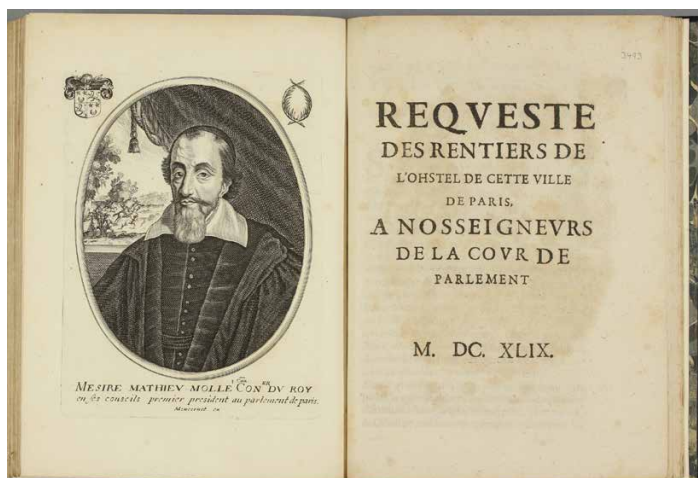
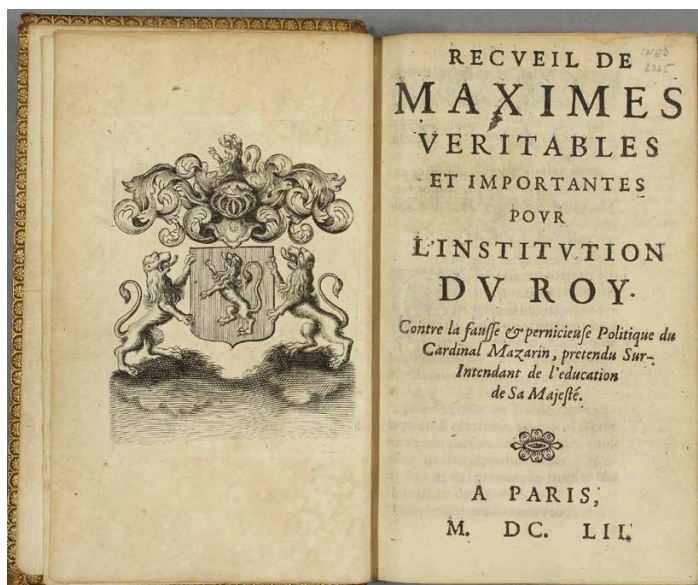


図7 文庫 22-A538 巻頭の銅版口絵 (Moreau 3039 参照)



その他、キャリエが2巻本で復刻したマザリナード文書の重要文献52点¹⁶のうち13点がコルヴェア文庫中にまれている。Vol. 1は、政治的反対文書、民主主義的意見の表明の代表的文書(1-30)であり、そのうちの10文書、Vol. 2は、経済、財政、フランス社会の発展とその緊迫に関する代表的文書(31-52)であり、そのうちの3文書である。

Vol. 1

1: *Contract de mariage du Parlement avec la ville de Paris*. A Paris, chez la veufue I. Guillemot, 1649.

Moreau 783 文庫 22-267

- 2: Clenleu, Bertrand d'Ostove de, *Lettre d'avis a messieurs du Parlement de Paris, escrete par vn prouincial*. Paris, [s. n.], 1649. Moreau 1837 文庫 22-201
- 3: *Epilogue, ou Dernier appareil du bon citoyen, sur les miseres publiques*. A Paris, chez Robert Sara, 1649. Moreau 1264 文庫 22-233 ②
- 4: *Que la voix du peuple est la voix de Dieu. Contre le sentiment de celuy qui nous a proposé une question toute contraire*. A Paris, chez Pierre Variquet, 1649. Moreau 2943 文庫 22-145
- 5: Machon, Louis. *Les veritables maximes du gouvernement de la France, justifiées par l'ordre des temps, depuis l'establissement de la monarchie jusques à present : servant de response au pretendu arrest de cassation du Conseil du 18. janvier 1652. Dedié a son Altesse royale*. A Paris, l'imprimerie de la veufve J. Guillemot, 1652. Moreau 3969 文庫 22-114 ①
- 10: *La discussion des quatre controverses politiques. I. Si la puissance des roys est de droict divin, & si elle est absoluë. II. Si les roys sont par dessus les loix. III. Si les peuples ou Estats generaux ont pouvoir de regler leur puissance. IV. Si dans l'estat ou se trouvent maintenant les affaires, on peut faire un regent ou lieutenant pour le Roy*. [s. l. : s. n., 1652] Moreau 1154 文庫 22-291
- 11: Arnauld d'Andilly, Robert. *La verité toute nue ou Advis sincere et des-interessé sur les veritables causes des maux de l'Estat, & les moyens d'y apporter le remede*. A Paris. 1652. Moreau 4007 文庫 22-147
- 20: Du Bosc de Montandré, *Le point de l'ovalle. Faisant voir que pour remedier promptement aux maladies de l'Estat, pendant qu'elles ont encor quelque ressource. I. Il faut renforcer un party pour le faire triompher de haute-lute, parce que l'égalité feroit tirer la guerre en des longueurs insupportables. II. ...* [s. l. : s. n., 1652] (B) Moreau 2808 文庫 22-130-1 ⑮
- 21: Du Bosc de Montandré, Claude, *La franche marguerite. Faisant voir. I. Que le Roy ne peut point restablir le Mazarin : & que par consequent, l'armement qui se fait pour ce dessein, est injuste. II. ...* [s. l. : s. n., 1652] Moreau 1447 文庫 22-130-2 ⑤
- 26: *La mercuriale faisant voir : I. L'injustice des deux partis, soit en leurs fins soit aux moyens dont ils se servent pour y parvenir. II. La nécessité d'un tiers parti pour reduire les autres deux à la raison*. A Paris, 1652. Moreau 2457 文庫 22-125

Vol. 2

- 31: Pierre de Saint-Joseph, *Catechisme des partisans, ou resolutions theologiques touchant l'imposition, levées & employ des finances. Dressé par demandes & responses pour plus grande facilité. Par le R.P.D.P.D.S. I*. A Paris, chez Cardin Besongne, 1649. Moreau 652 文庫 22-135 ①
- 35: *La gueuserie de la Cour*. [s. l. : s. n.], 1649. Moreau 1533 文庫 22-205 ⑨
- 36: Michel de Grosbois, *Lettre du père Michel religieux hermite de l'ordre des Camaldoli, près Grosbois, à monseigneur le duc d'Angoulesme, sur les cruautéz des Mazarinistes en Brie*. A Paris,

[s. n.], 1649. Moreau 2128 文庫 22-187

一方、Moreau 及びその補遺に収録されていない以下の文書がある。

文庫 22-195: *Les larmes & soupirs de la reine d'Angleterre, sur la mort barbare & cruelle du roy son mary : presenté à là reine regente, en forme de remontrance a l'estat present.* A Paris : Chez Robert Feugé, 1649. [4] p., 4to

この文書については、世界の主要な図書館の OPAC で検索しているが、現時点ではいずれの図書館でも所蔵が確認できない。したがって、マザリナード文書の範疇に加えてもよいかどうかは不確かであるが、版元の Robert Feugé はマザリナード文書の出版者として知られている人物であり¹⁷、また英国王チャールズ 1 世 (Charles I of England, Scotland, and Ireland) が清教徒革命による処刑を悲しみ、亡命して祖国に戻っていた王妃アンリエット・マリー (Henriette Marie) に対して哀悼を捧げる文書は他にもあり、それがマザリナード文書となっているため、本書もマザリナード文書とみなすことができよう。

また、一橋大学社会科学古典資料センター所蔵マザリナード文書の中には¹⁸、コルヴェア文庫のマザリナード文書と版が一致する以下の 15 点がある。

1. H016, H018 = 文庫 22-135 ①
2. H017, H019 = 文庫 22-135 ②
3. H036 = 文庫 22-233
4. H037 = 文庫 22-205 ⑥, 2701
5. H066 = 文庫 22-197
6. H079 = 文庫 22-119 ①
7. H080 = 文庫 22-119 ②
8. H091 = 文庫 22-142 ①
9. H092 = 文庫 22-142 ②
10. H096 = 文庫 22-424
11. H097 = 文庫 22-433
12. H111 = 文庫 22-287
13. H114 = 文庫 22-292 ①
14. H118 = 文庫 22-260
15. H119 = 文庫 22-147

7. おわりに

現在、コルヴェア文庫の整理はまだ完了していない。今回の調査でコルヴェア文庫中にマザリナード文書が 262 点含まれていたことが判明した、この数量は、日本では東京大学のコレクションに次いで 2 番目となる。コルヴェア文庫中のマザリナード文書の特徴としては、代表的

な雑誌やいくつかの重要文書が含まれており、数量は限られているものの、コレクションとして価値があることである。今後の課題は、東京大学のコレクションとコルヴェア文庫の販売ルートが共通しているため、両者に何らかの関係がないかどうか確認することである。

一方、コルヴェア文庫全体の目録の刊行は現時点では予定されていない。コルヴェア文庫ではマザリナード文書を特に区別して整理していないため、OPACで検索してもマザリナード文書だけを取り出すことは困難である。そのため、その中に含まれているマザリナード文書だけの目録の作成が必要である¹⁹。

- ¹ コルヴェア文庫は約1万点からなるが、現状では7千点余りしかOPACで検索できない。出版年別の統計から判断して、19世紀後半のバリコミュンに関する文書の整理がまだ進んでいないため、この数値に差が出ていると思われる。
- ² 早稲田大学図書館『フランス経済・社会・思想文庫（通称コルヴェア文庫）展示資料解題』1991年には2点のマザリナード文書の紹介があるのみで（pp. 64-65）、コレクションについては言及されていない。
- ³ Vellet, Christophe, *Les mazarinades à l'affiche?: Armand d'Artois et la collection de la Bibliothèque Mazarine, Histoire et civilisation du livre*, vol. 12, 2016, pp. 51-67.
- ⁴ Blasselle, Bruno et Séverine Pascal, *Le fonds des mazarinades de la Bibliothèque de l'Arsenal, Histoire et civilisation du livre*, vol. 12, 2016, pp. 15-32.
- ⁵ Toftgaard, Anders, *Katalog over samlingen af mazarinaderi Det Kongelige Bibliotek=Catalogue de la collection de mazarinades à la Bibliothèque Royal*, Copenhagen: Det Kongelige Bibliotek, 2015.
- ⁶ Ferri, Laurent, *Inter folia venenum: Les collections de mazarinades aux États-Unis (1865-2014), Histoire et civilisation du livre*, vol. 12, 2016, pp. 69-75.
- ⁷ Harvard Library, Mazarinades, URL: <https://library.harvard.edu/collections/mazarinades> (accessed on 4 August, 2023).
- ⁸ 一丸禎子「マザリナード文書の公開に先立って—その特性と東京大学コレクションの紹介」『人文』vol. 9, 2011, pp. 97-117; 一丸禎子ほか『マザリナード探求』山然, 2021; 一丸禎子『フロンドの乱とマザリナード』山然, 2023.
- ⁹ 野呂康『古典資料センター所蔵「マザリナード」の現在：附所蔵マザリナード一覧及び選集合本内容一覧』一橋大学社会科学古典資料センター, 2010 (Study Series, No. 63).
- ¹⁰ Moreau, Célestin, « Supplément à la Bibliographie des mazarinades », *Bulletin du bibliophile et du bibliothécaire*, 1862, pp. 786-829; ditto, « Supplément à la Bibliographie des mazarinades », *Bulletin du bibliophile et du bibliothécaire*, 1869, pp. 61-81.
- ¹¹ Socard, Émile, *Supplément à la Bibliographie des mazarinades, Cabinet historique*, t. 22, 1876, pp. 223-247; Labadie, Ernest, *Nouveau supplément à la Bibliographie des mazarinades, Bulletin du bibliophile et du bibliothécaire*, 1903, pp. 293-303, 363-372, 435-443, 555-565 & 676-680; *Bulletin du bibliophile et du bibliothécaire*, 1904, pp. 91-98 & 131-141.
- ¹² *Recherches internationales sur les Mazarinades, La collection des mazarinades de Tokyo comme si vous y etiez*, URL: <http://mazarinades.org/edition/collections> (accessed on 4 August, 2023).
- ¹³ *Louis-Nicolas-Jean-Joachim de Cayrol (1775-1859), du 29 avril au 22 mai 1861 : Catalogue des livres manuscrits et imprimés composant la bibliothèque de feu M. de Cayrol ancien député*, Paris, L. Potier, 1861.
- ¹⁴ *Biblistima, Collection de Cayrol*, URL: <https://portail.biblistima.fr/fr/ark:/43093/coldata26824561c8a39e68829f7c155d20c3e38dcf82c6> (accessed on 4 August, 2023).
- ¹⁵ Sgard, Jean, *Dictionnaire des journaux, 1600-1789*. Paris: Universitas, 1991.

- ¹⁶ Carrier, H., *La Fronde : contestation démocratique et misère paysanne : 52 mazarinades*, Paris: EDHIS, 1982.
- ¹⁷ Recherches internationales sur les Mazarinades, 5. Liste imprimeurs & libraires, 100, URL : <http://mazarinades.org/liste-des-imprimeurs/> (accessed on 11 August 2023).
- ¹⁸ 野呂康 『古典資料センター所蔵「マザリナード」の現在』一橋大学社会科学古典資料センター, 2010 (Study Series, No. 63).
- ¹⁹ コルヴェア文庫に含まれているマザリナード文書については、今後発表される次の目録を参照していただきたい。拙稿「早稲田大学図書館所蔵マザリナード文書目録」『早稲田大学図書館紀要』71号, 2024 (印刷中)